

# 全般季節予報支援資料 1か月予報

2025年4月17日

予報期間：4月19日～5月18日

この資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する季節予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

## 特に注意を要する事項

北・東日本では、期間のはじめは気温がかなり高くなる所がある見込みです。

## 出現の可能性が最も大きい天候

北日本では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

東・西日本では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

沖縄・奄美では、天気は数日の周期で変わるでしょう。

# 全般1か月予報

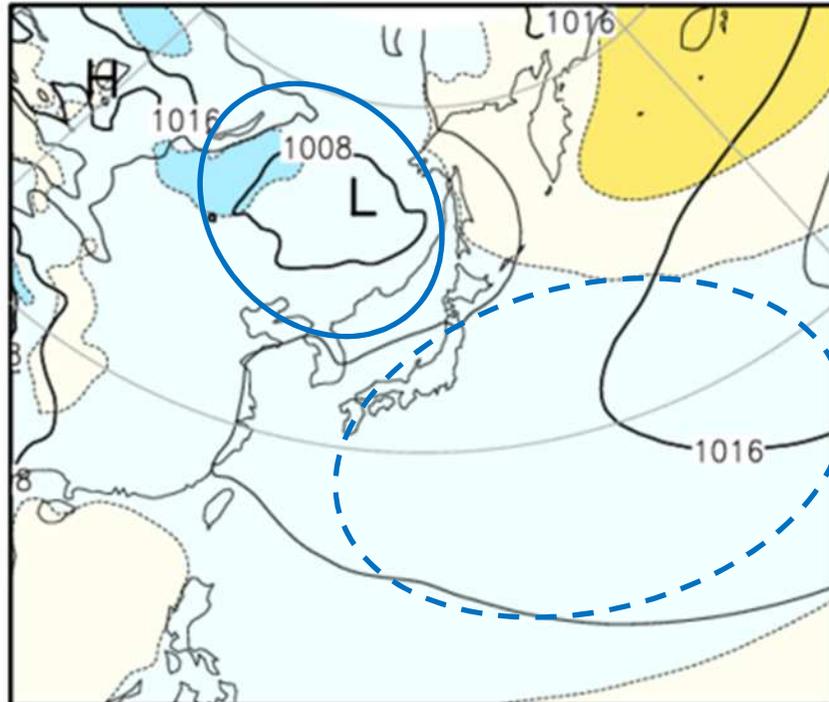
1か月		気温(%)	降水量(%)	日照時間(%)	降雪量(%)
		低並高	少並多	少並多	少並多
北日本	日本海側	10:30:60	40:30:30	40:40:20	
	太平洋側		40:30:30	40:40:20	
東日本	日本海側	10:30:60	40:40:20	30:40:30	
	太平洋側		40:40:20	30:30:40	
西日本	日本海側	20:30:50	40:40:20	30:30:40	
	太平洋側		40:40:20	30:30:40	
沖縄・奄美		40:30:30	40:40:20	30:40:30	

気温	1週目(%)	2週目(%)	3~4週目(%)
	低並高	低並高	低並高
北日本	10:10:80	20:30:50	20:40:40
東日本	10:10:80	20:40:40	20:40:40
西日本	10:20:70	20:50:30	20:40:40
沖縄・奄美	20:50:30	40:40:20	30:40:30

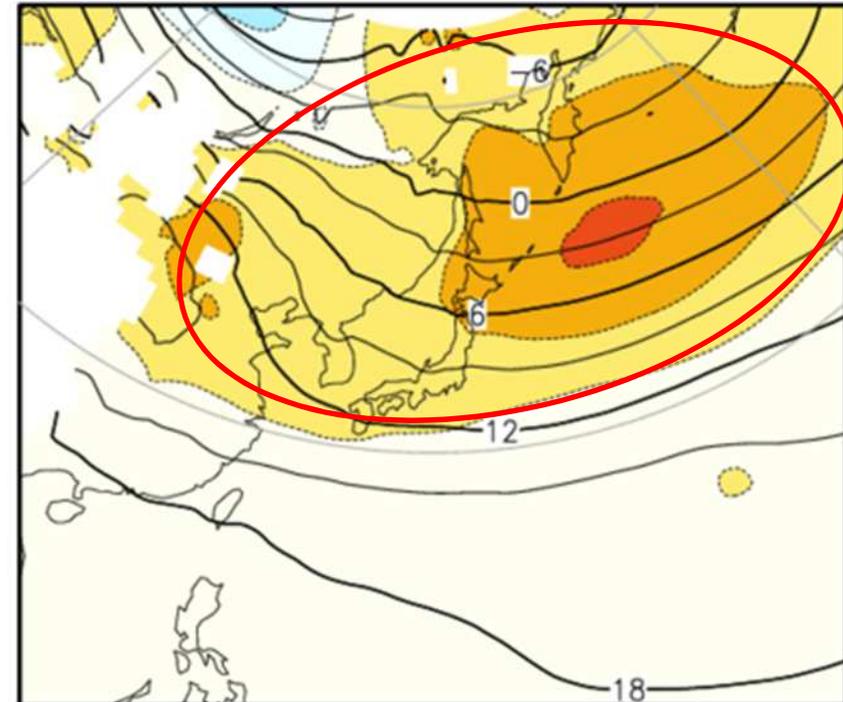
## 全般予報のポイント

- ・暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は、北・東・西日本で高いでしょう。特に、北・東日本では、期間のはじめは気温がかなり高くなる所がある見込みです。
- ・帯状の高気圧に覆われやすい時期があるため、向こう1か月の降水量は、東・西日本と沖縄・奄美で平年並か少ないでしょう。
- ・低気圧や湿った空気の影響を受けやすい時期があるため、向こう1か月の日照時間は、北日本で平年並か少ないでしょう。

## 海面気圧(1か月)



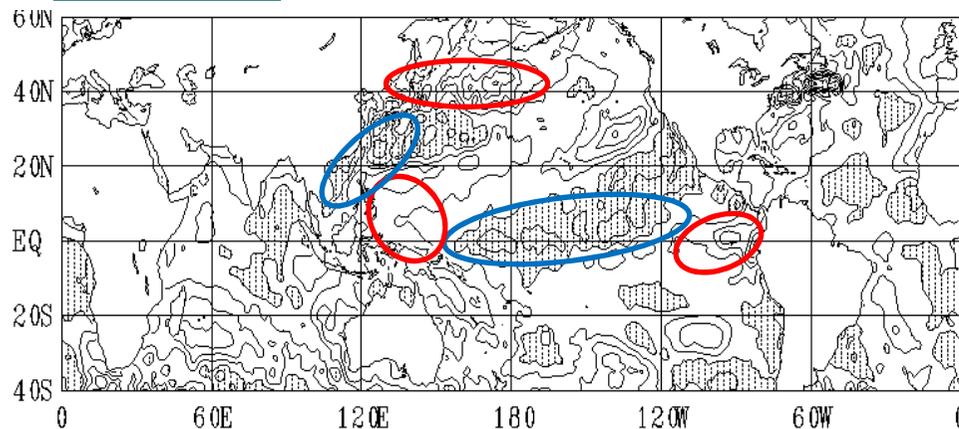
## 上空約1500mの気温(1か月)



1か月平均の上空約1500mの気温(右図)は、千島の東付近を中心に高く、北・東・西日本では暖かい空気に覆われやすいでしょう。

海面気圧(左図)は、中国東北区付近では低気圧が予測されるため、北日本では低気圧や湿った空気の影響を受けやすい時期があるでしょう。一方、日本付近は平年より低く、日本の東の高気圧は西への張り出しが弱いでしょう。また、日本付近は南北の温度差が小さく、低気圧が発達しにくいほか、本州付近は高圧部となっており、帯状の高気圧に覆われやすい時期があるでしょう。

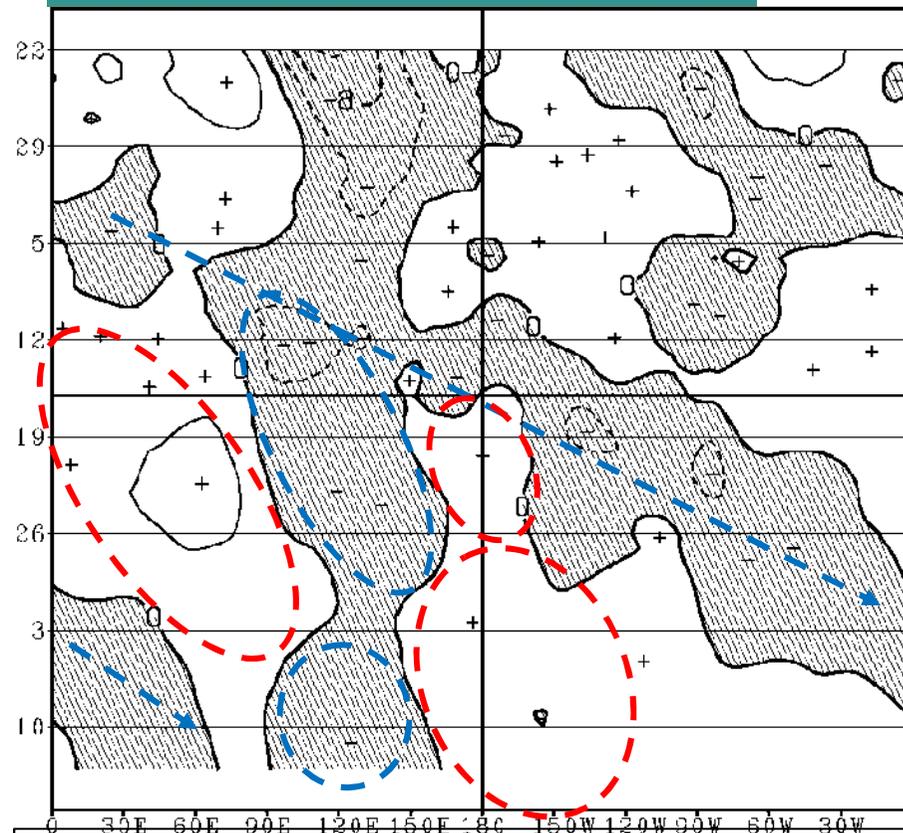
## SST偏差



熱帯域では、ニューギニア島周辺と太平洋東部で正偏差、太平洋中部を中心に負偏差。

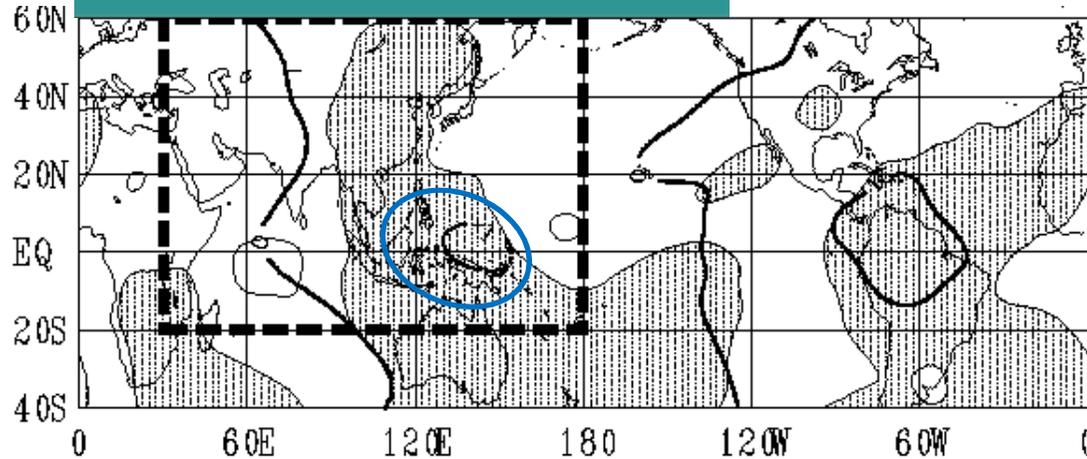
日本付近では、日本の南から南シナ海にかけて負偏差、日本海北部から日本の東にかけて正偏差。

## 200hPa速度ポテンシャル偏差



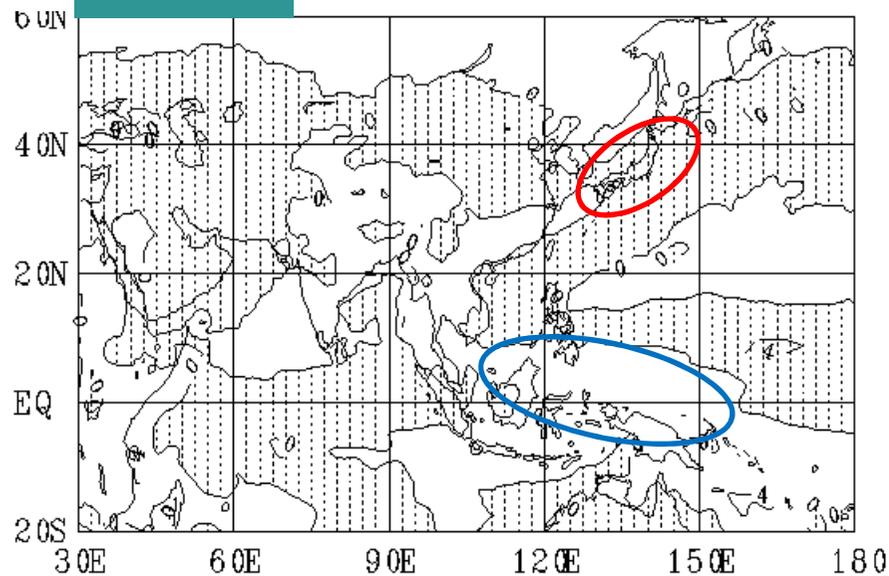
全般に偏差は小さい。インドネシア付近では、対流活発、インド洋では対流不活発。MJOが東進し、期間の後半はインド洋で対流活発になると予測されるが、明瞭ではない。

## 200hPa速度ポテンシャル



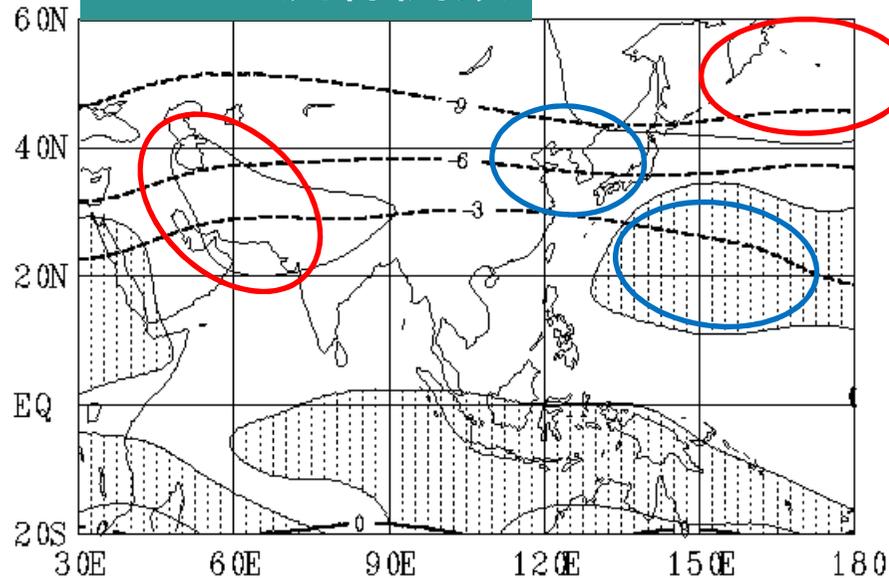
インドネシア付近で上層発散偏差だが、全体的に偏差は小さい。

## 降水量



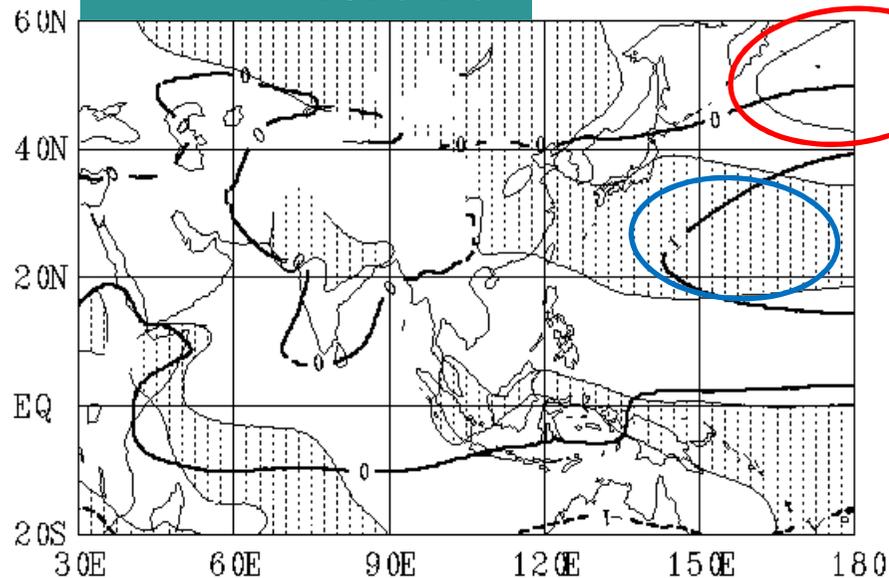
インドネシア付近で多雨偏差。  
日本付近では少雨偏差。

## 200hPa流線関数



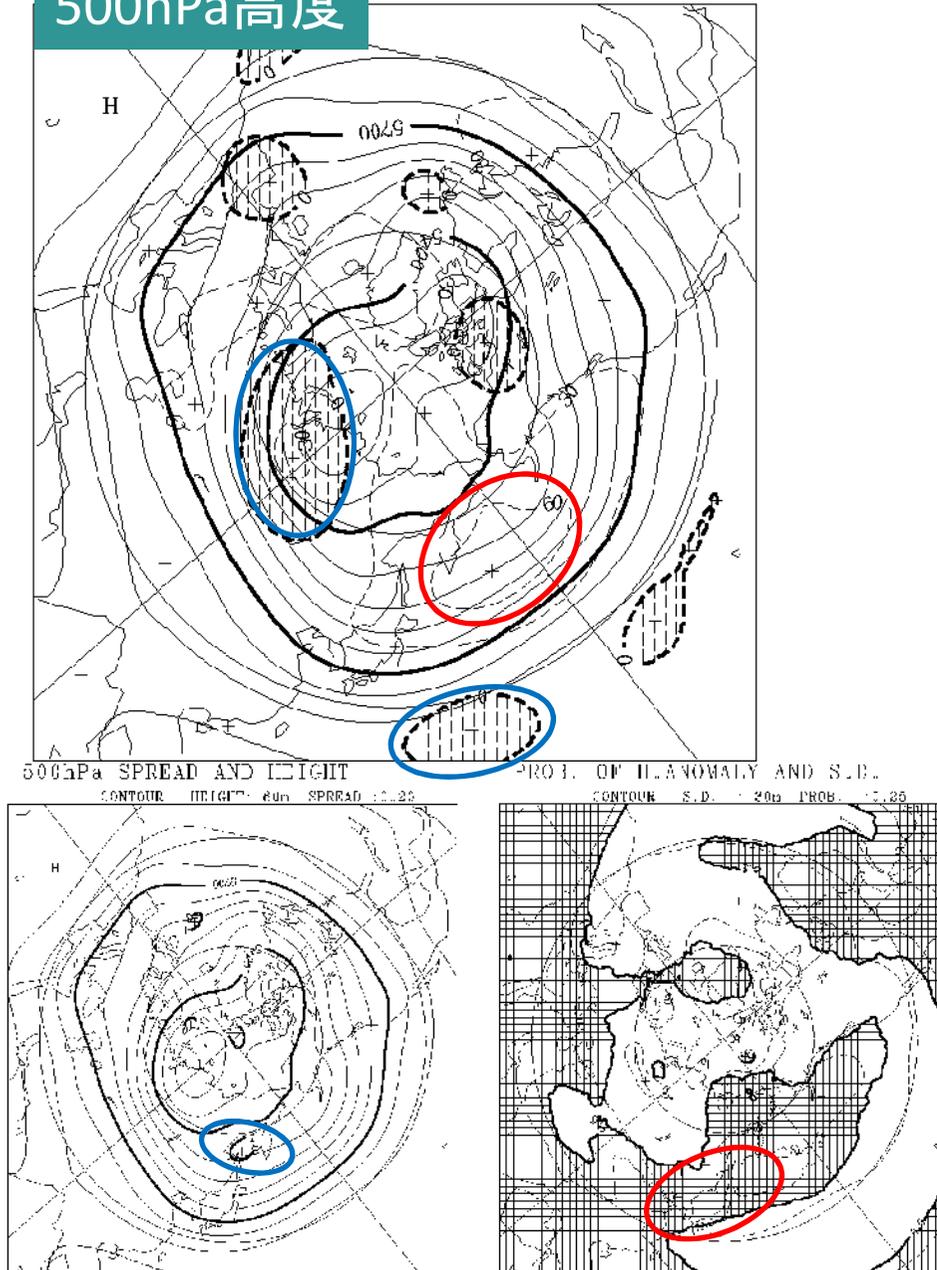
アラビア海の北で高気圧性循環偏差、朝鮮半島付近を中心に相対的な低気圧性循環偏差。また、カムチャツカの東付近で高気圧性循環偏差。日本の南東で低気圧性循環偏差。

## 850hPa流線関数



カムチャツカの東で高気圧性循環偏差、日本の南東で低気圧性循環偏差で、順圧的な鉛直構造。

## 500hPa高度



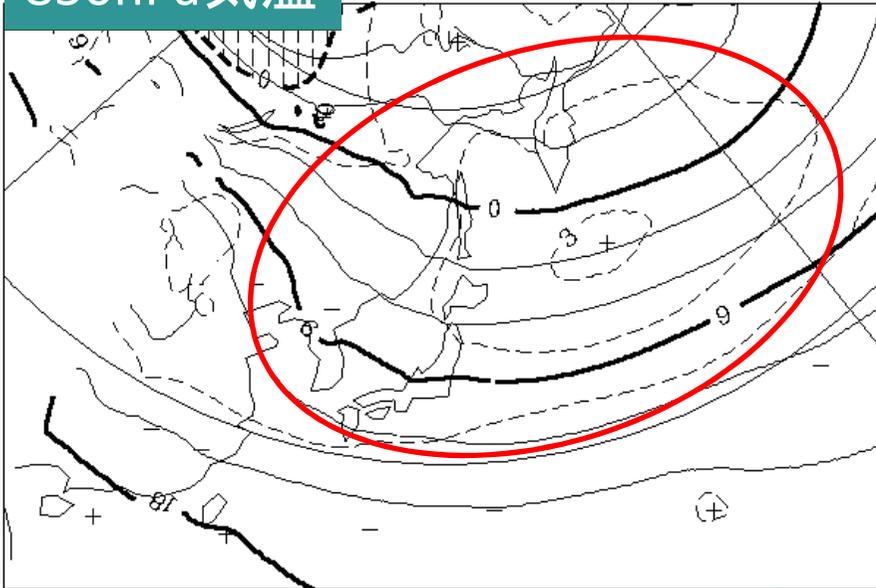
極渦の南に対応する西シベリア付近の負偏差は、ほとんど停滞。

カムチャツカ半島の東付近で正偏差の一方、日本の南東で負偏差。

北・東・西日本がおおむね正の高偏差確率50%以上の領域に覆われる。

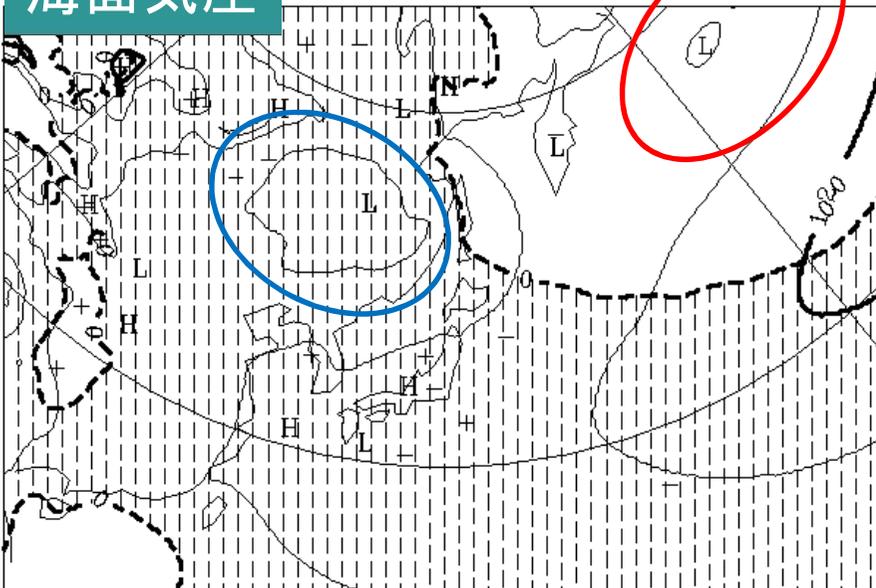
日本の北ではスプレッドが大きく、中緯度帯の流れの予測に不確実性がある。

## 850hPa気温



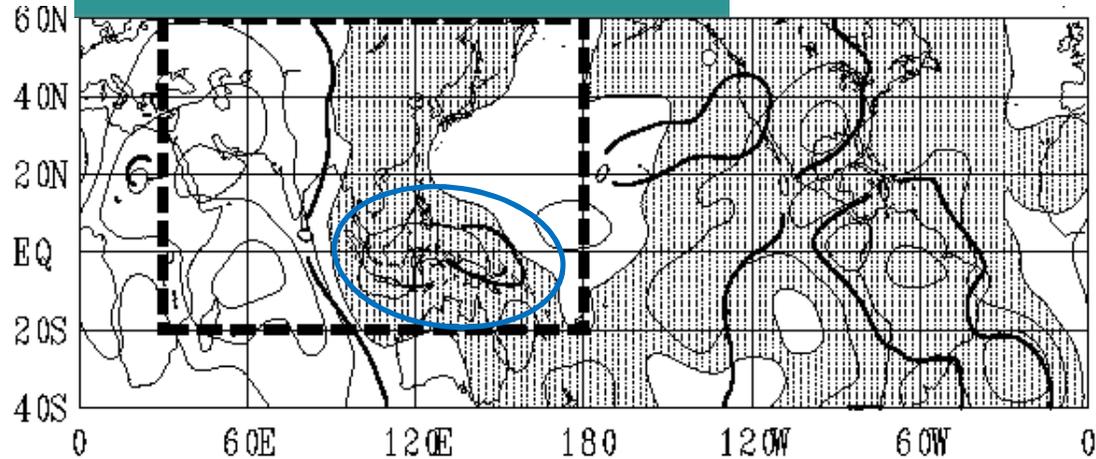
千島の東付近を中心に正偏差で、北・東・西日本では暖かい空気に覆われやすい。  
また、日本付近は南北の温度差が小さい。

## 海面気圧



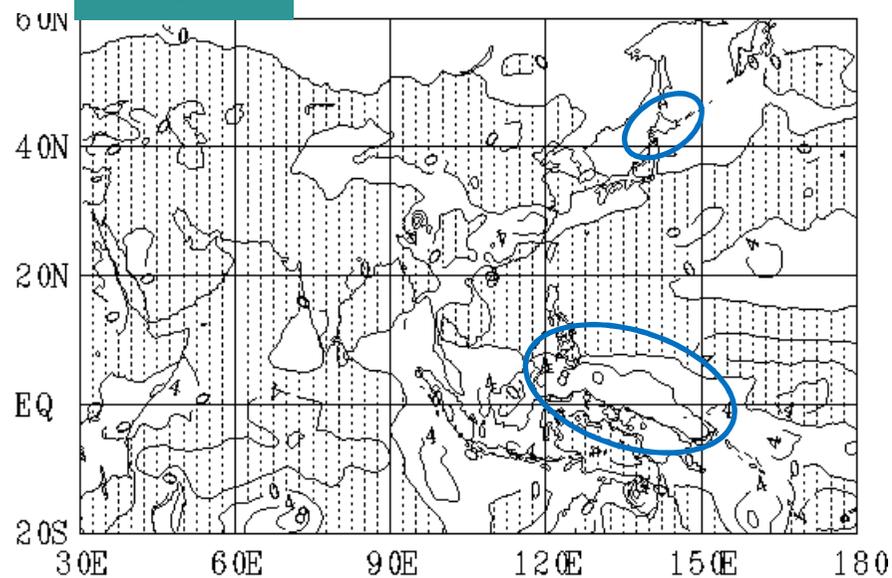
上層の循環パターンに対応して、カムチャツカの東付近では正偏差の一方、中国東北区付近では低気圧を予測。北日本では湿った空気の影響を受けやすい時期がある。  
一方、日本付近は偏差が小さく、日本の東の高気圧は西への張り出しが弱い。また、南北の温度差が小さいため、低気圧が発達しにくい。このため、低気圧や前線、湿った空気の影響を受けにくい。本州付近は高圧部となっており、帯状の高気圧に覆われやすい時期がある。

## 200hPa速度ポテンシャル



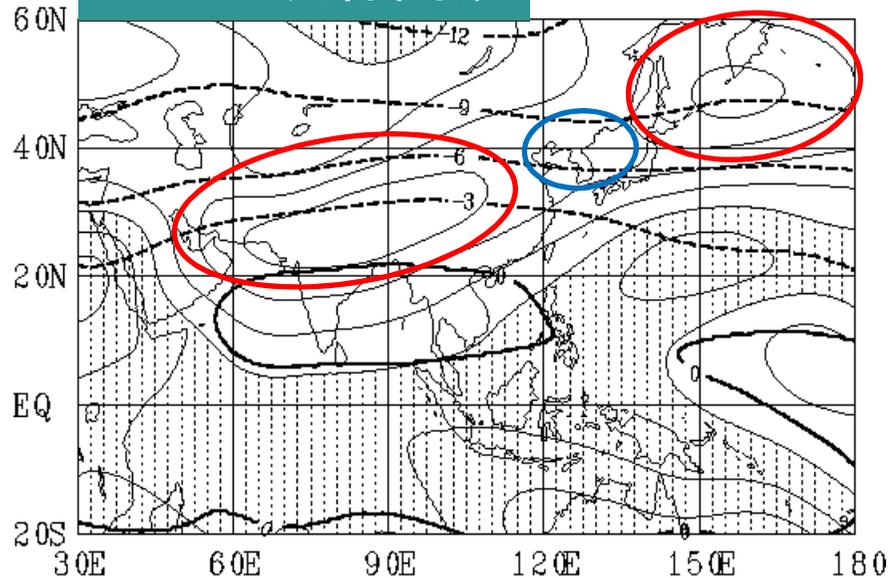
インドネシア付近で上層発散偏差。

## 降水量



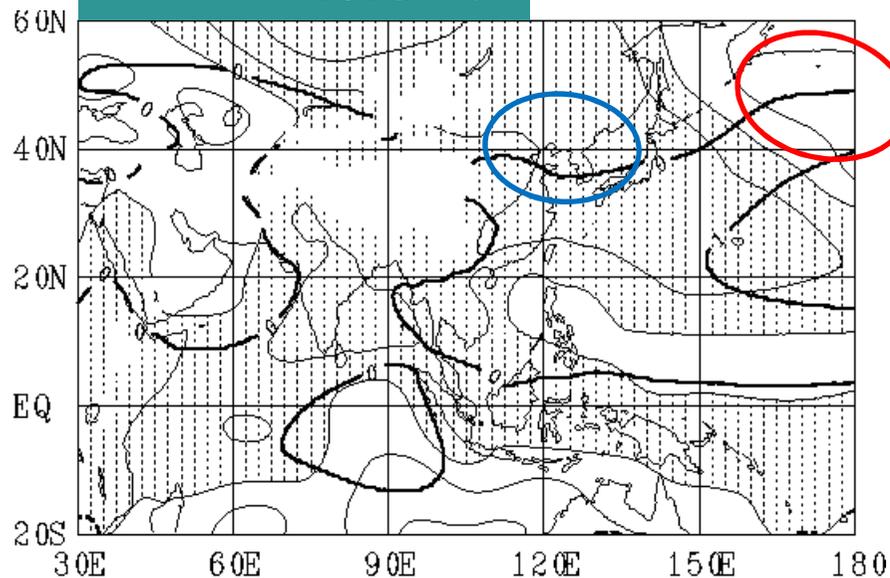
インドネシア付近で多雨偏差。  
日本付近は、北日本付近を中心に多雨偏差。

## 200hPa流線関数



カムチャツカ半島付近を中心に高気圧性循環偏差。  
朝鮮半島付近で相対的な低気圧性循環偏差。

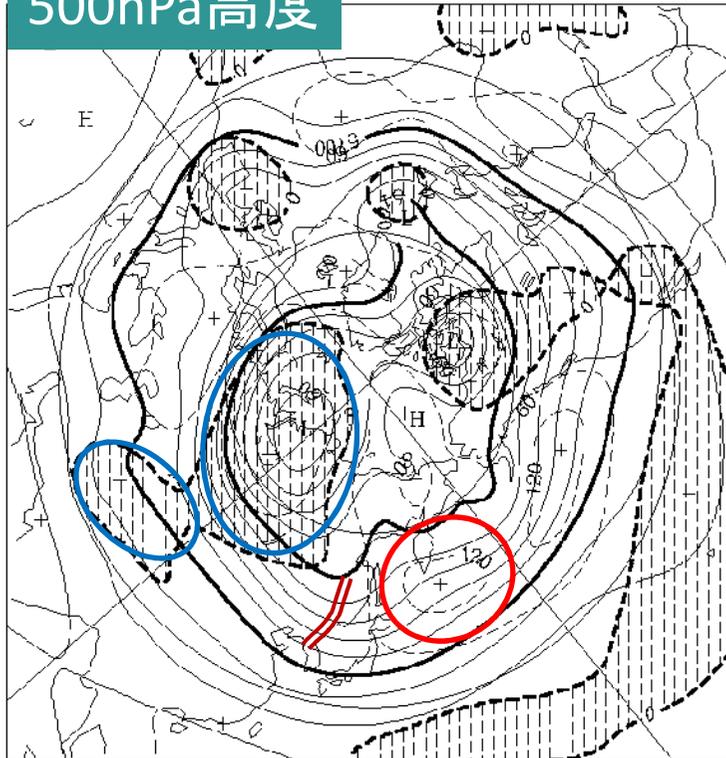
## 850hPa流線関数



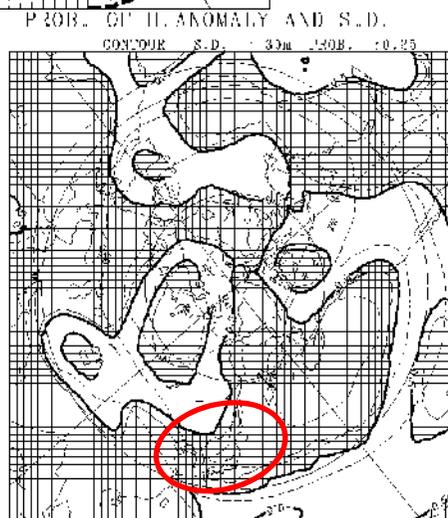
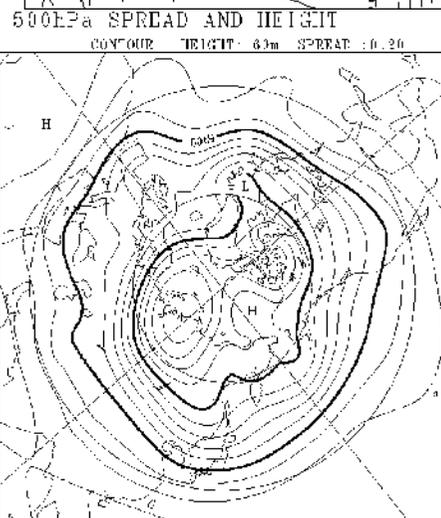
日本のはるか東を中心に高気圧性循環偏差、中国東北区付近を中心に低気圧性循環偏差で、順圧的な鉛直構造。

# 予報資料の解釈 1週目(4/19~4/25)

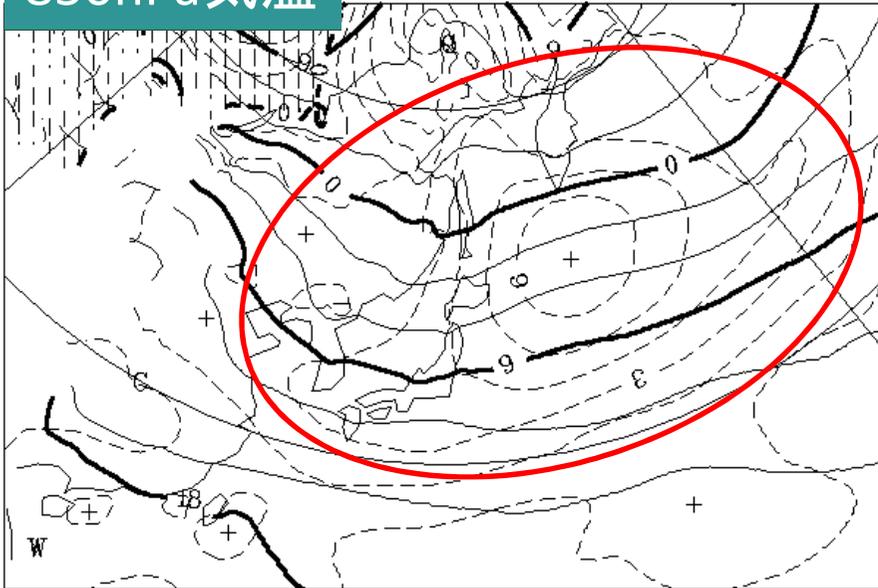
## 500hPa高度



千島の東を中心に正偏差。  
日本付近は西谷傾向。  
極渦の南にある負偏差はほとんど停滞。  
北・東・西日本がおおむね正の高偏差確率50%以上の領域に覆われる。

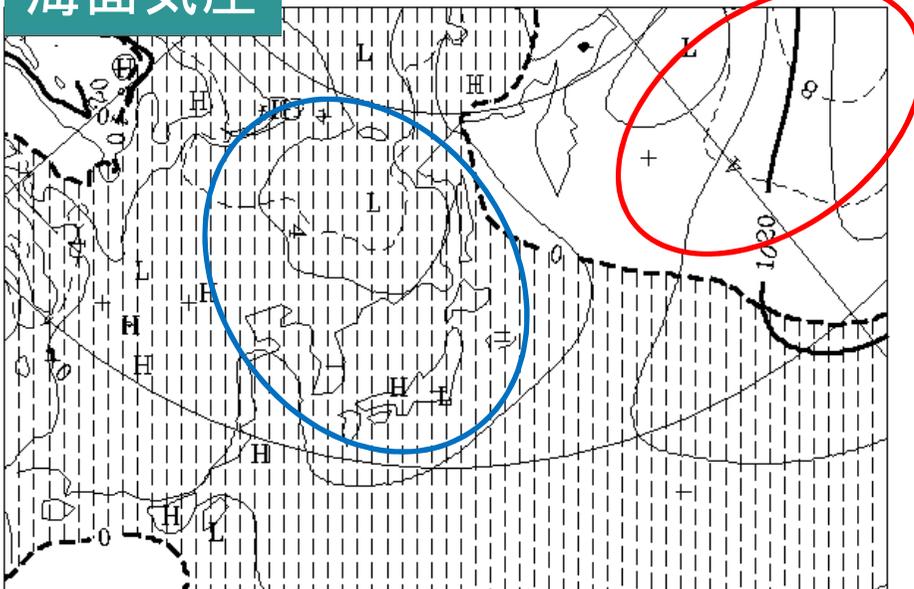


## 850hPa気温



千島の東付近を中心に正偏差が強く、北・東・西日本を中心に暖かい空気に覆われやすい。

## 海面気圧



上層の循環パターンに対応して、カムチャツカの東付近では正偏差の一方、中国東北区付近では低気圧を予測し、日本付近も負偏差。  
北日本と東日本日本海側を中心に、低気圧や前線、湿った空気の影響を受けやすい。

## 想定される天候

北日本と東日本日本海側では、天気は数日の周期で変わりますが、低気圧や前線、湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。  
東日本太平洋側と西日本では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。  
沖縄・奄美では、天気は数日の周期で変わるでしょう。

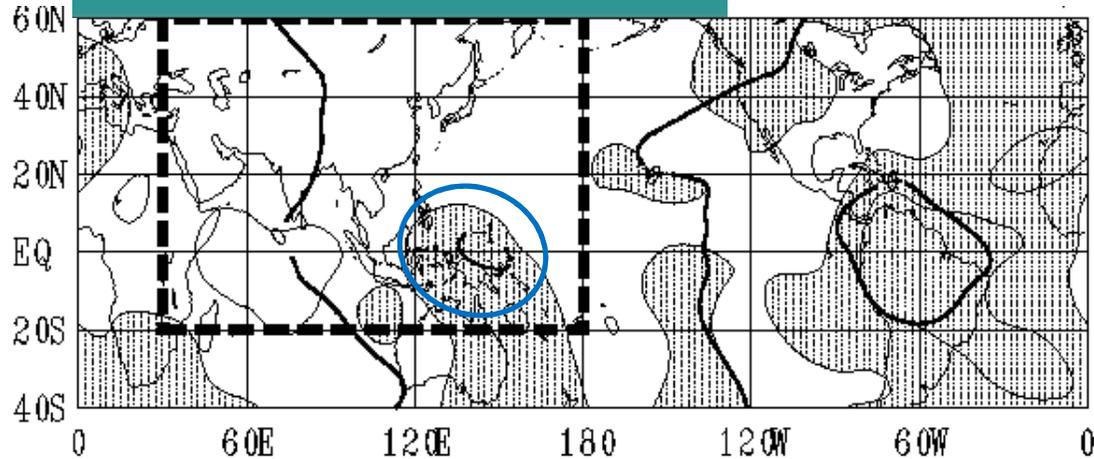
### <気温>

- ・北・東・西日本では、暖かい空気に覆われやすく、北・東日本ではかなり高くなる所がある見込み。
- ・沖縄・奄美では、平年並。

### <天候>

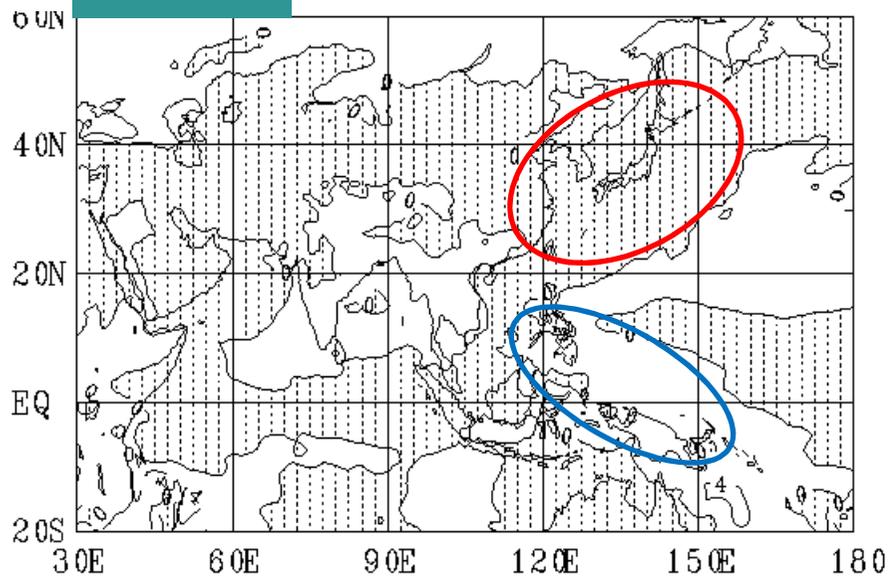
- ・北日本と東日本日本海側を中心に、低気圧や前線、湿った空気の影響を受けやすい。

## 200hPa速度ポテンシャル



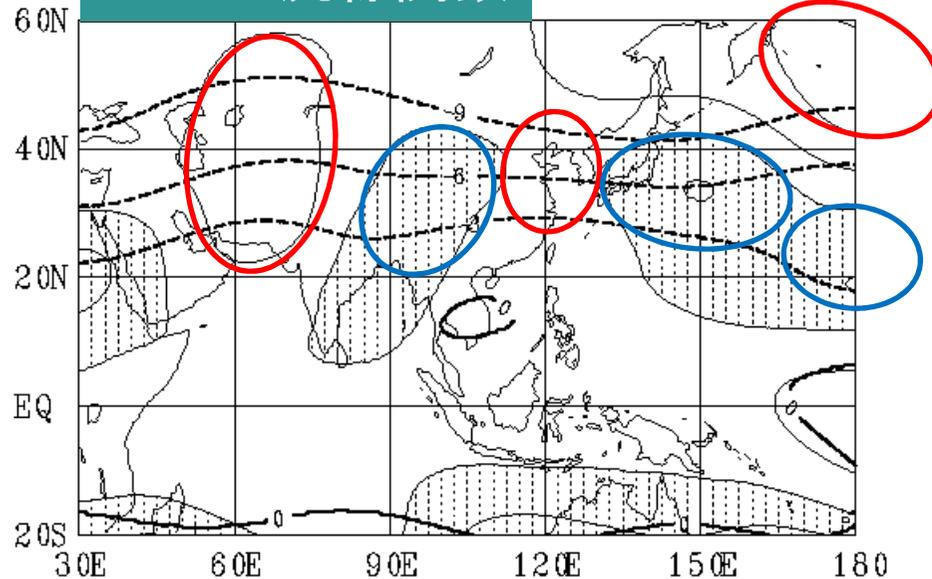
インドネシア付近で上層発散  
偏差だが、シグナルは小さい。

## 降水量



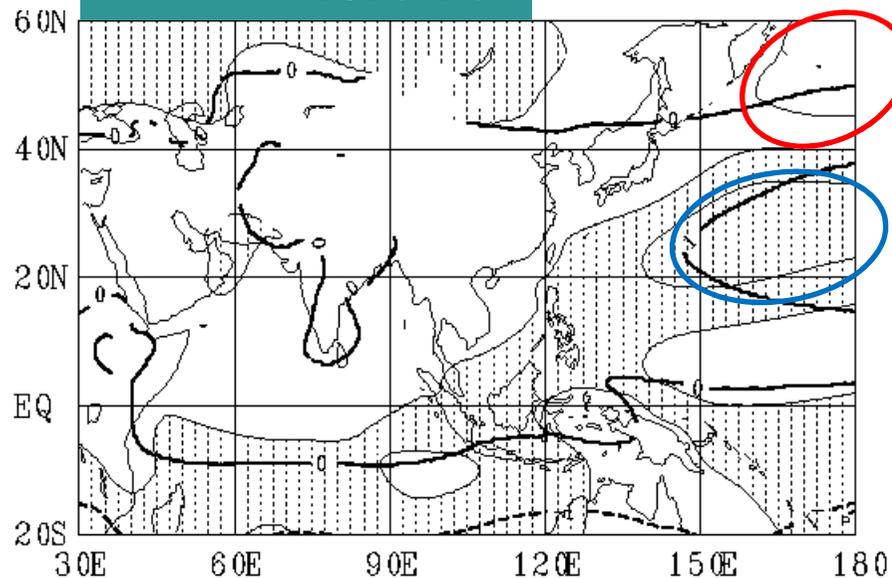
インドネシア付近で多雨偏差。  
日本付近では少雨偏差。

## 200hPa流線関数



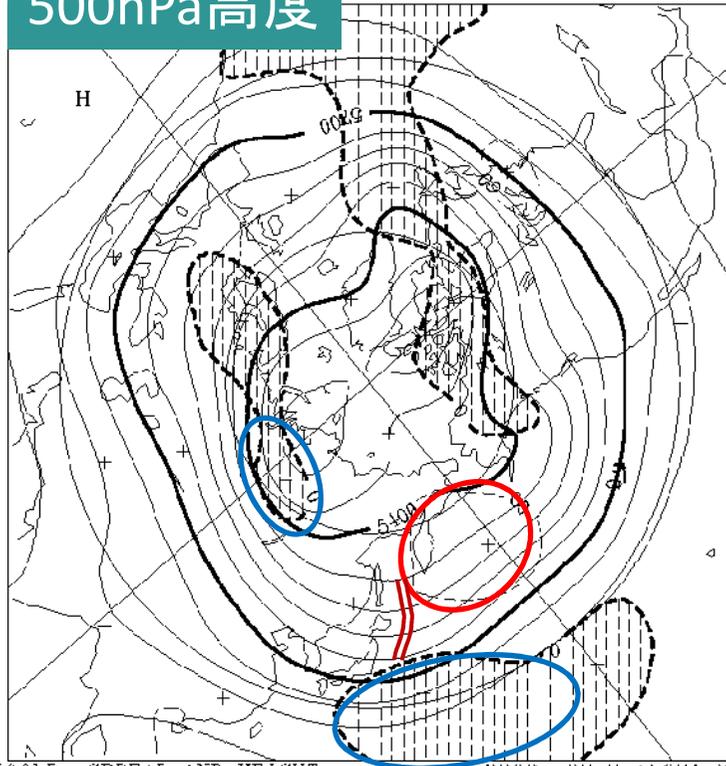
亜熱帯ジェット気流沿いの波東伝播の影響で、ボツ海付近では高気圧性循環偏差、本州付近から日本の南東で低気圧性循環偏差。ミッドウェー島付近で低気圧性循環偏差。日本付近は東谷傾向。

## 850hPa流線関数



カムチャツカの東を中心に高気圧性循環偏差、日本の南東で低気圧性循環偏差。日本の東の高気圧は西への張り出しが弱く、日本付近には湿った空気が入りにくい。

## 500hPa高度

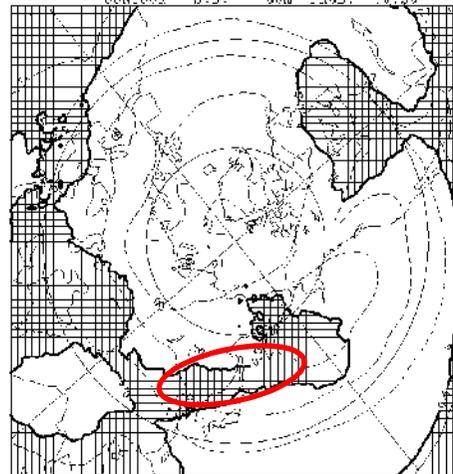
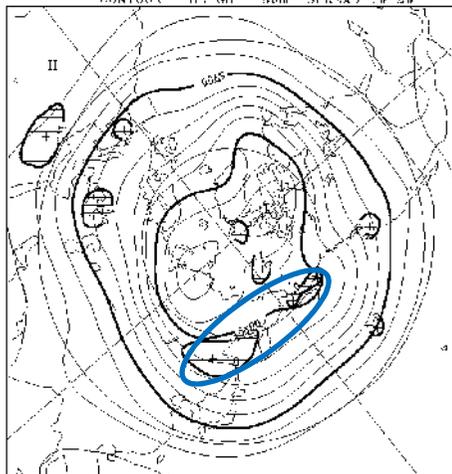


500hPa SPREAD AND HEIGHT

PROB. OF H. AKOMA.Y AND S.D.

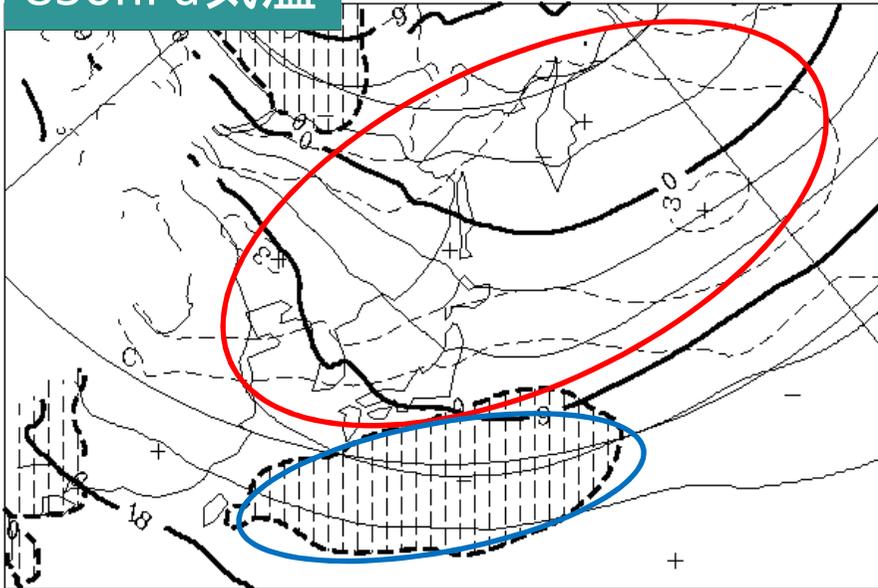
CONTOUR HEIGHT 80m SPREAD 0.20

CONTOUR S.D. 30m 2.00 0.20



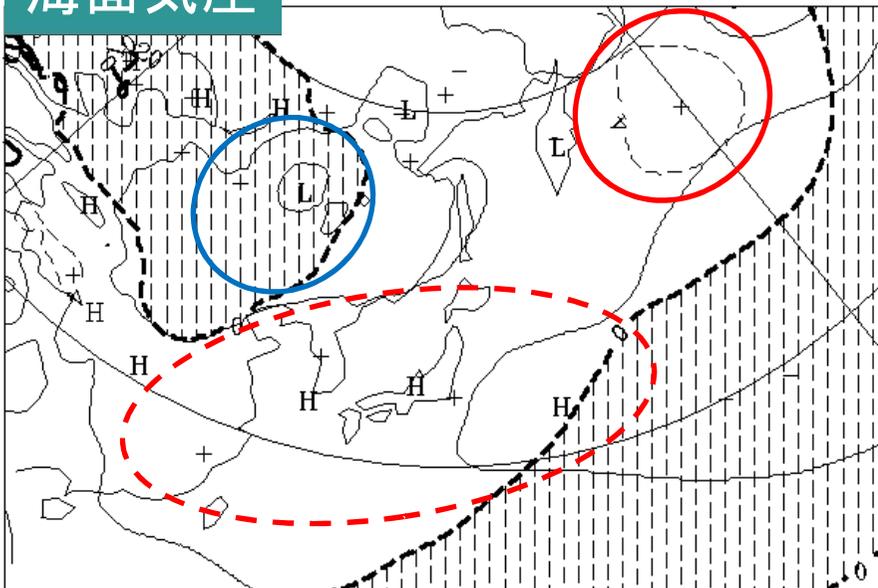
カムチャツカの東を中心に正偏差、日本の南東で負偏差。日本付近は東谷傾向。極渦の南にある負偏差はほとんど停滞し縮小。北海道の一部で正の高偏差確率50%以上の領域に覆われる。日本の北ではスプレッドが大きく、中緯度帯の流れの予測に不確実性がある。

## 850hPa気温



日本のはるか東を中心に正偏差が強く、北・東日本では暖かい空気に覆われやすい。  
沖縄・奄美付近から日本の南では負偏差。

## 海面気圧



中国東北区付近では低気圧を予測する一方、カムチャツカの東を中心に正偏差が強く、日本付近も弱いながら正偏差。  
低気圧や前線、湿った空気の影響を受けにくい。本州付近は高圧部となっており、帯状の高気圧に覆われやすい。

### 想定される天候

全国的に、天気は数日の周期で変わりますが、帯状の高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

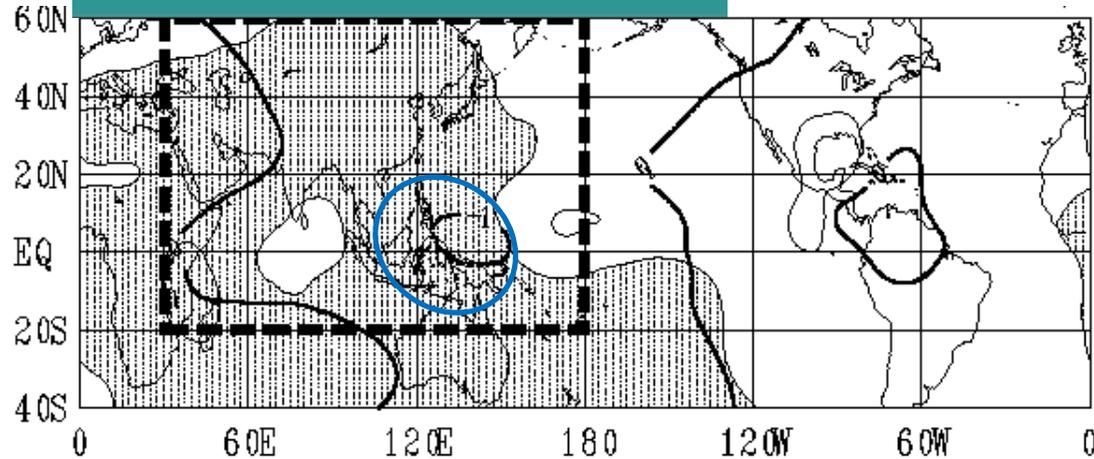
#### <気温>

- ・暖かい空気に覆われやすいため、北日本では高温。東日本では高温傾向。
- ・西日本では、平年並。
- ・沖縄・奄美では、高気圧からの北東風による影響で、低温傾向。

#### <天候>

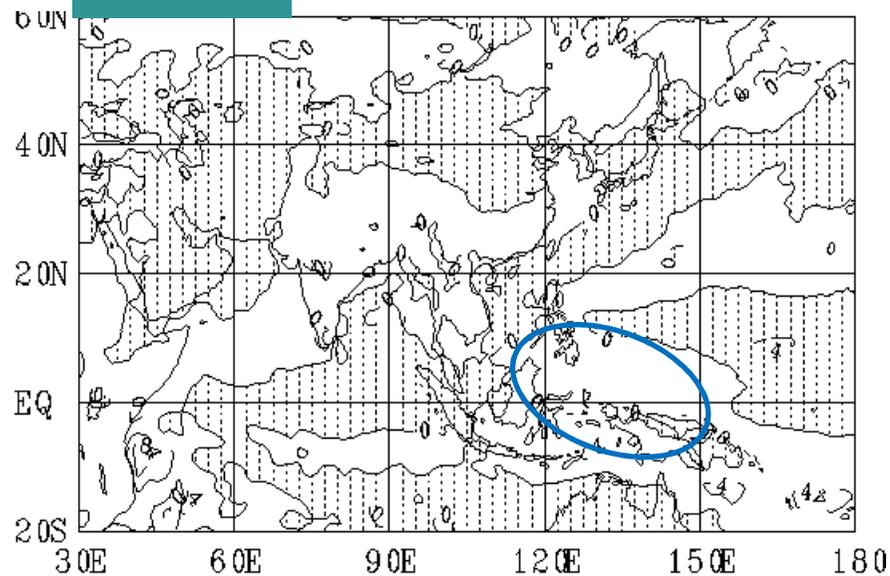
- ・全国的に、低気圧や前線、湿った空気の影響を受けにくく、帯状の高気圧に覆われやすい。

## 200hPa速度ポテンシャル



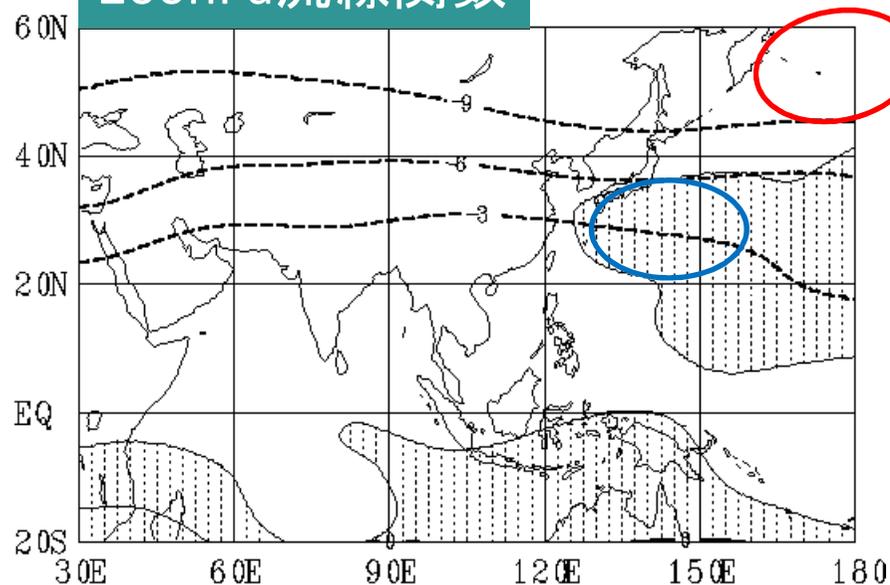
インドネシア付近で上層発散  
偏差。

## 降水量



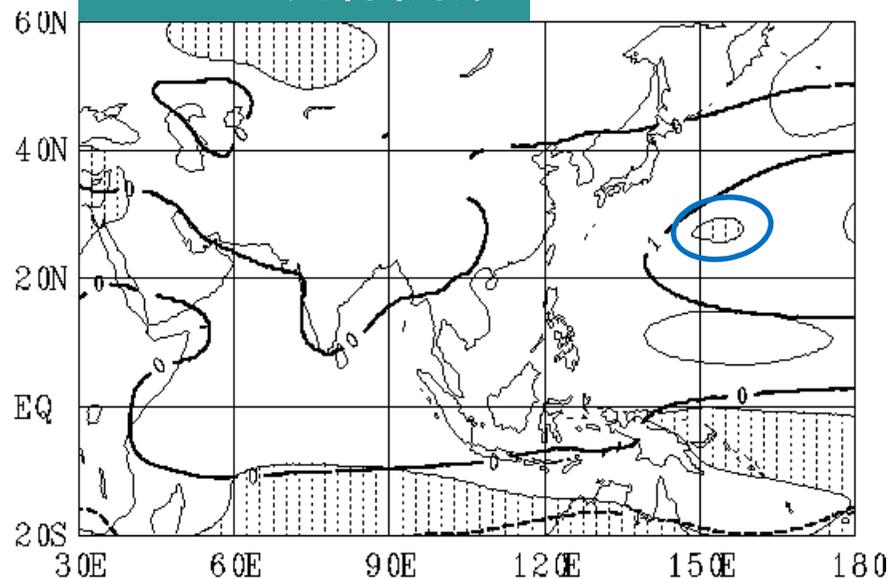
インドネシア付近で多雨偏差。  
日本付近は、偏差は小さい。

## 200hPa流線関数



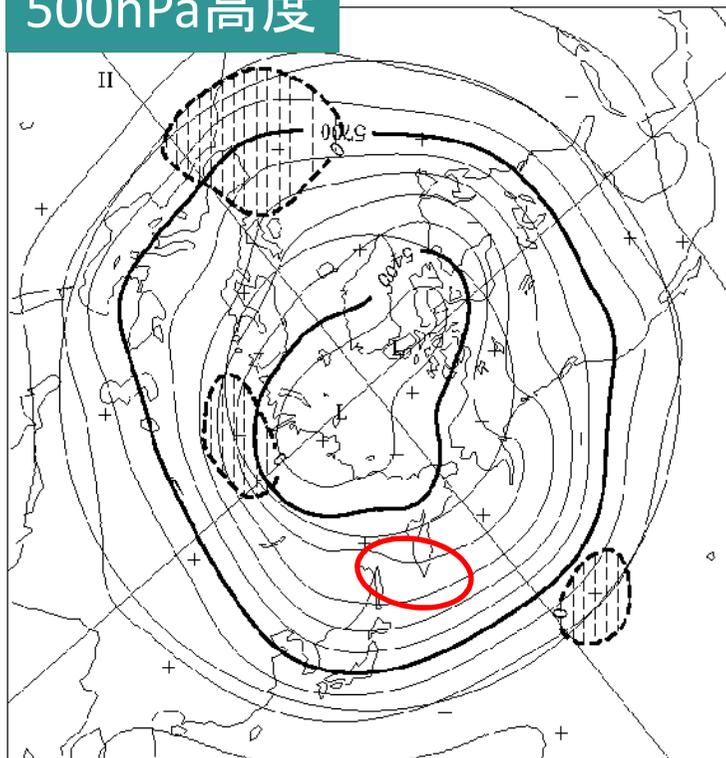
日本の南東付近を中心に低気圧性循環偏差、カムチャツカの東を中心に高気圧性循環偏差。

## 850hPa流線関数



日本の南東で低気圧性循環偏差だが偏差は小さい。

## 500hPa高度

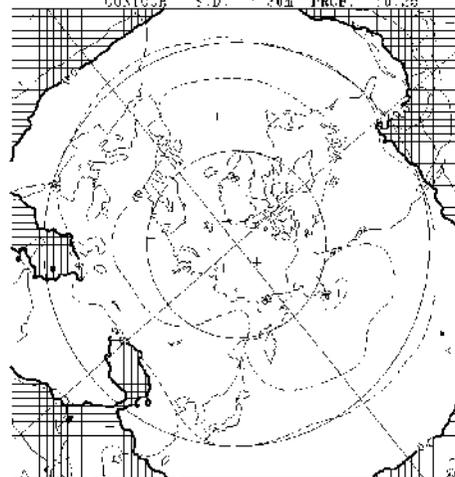
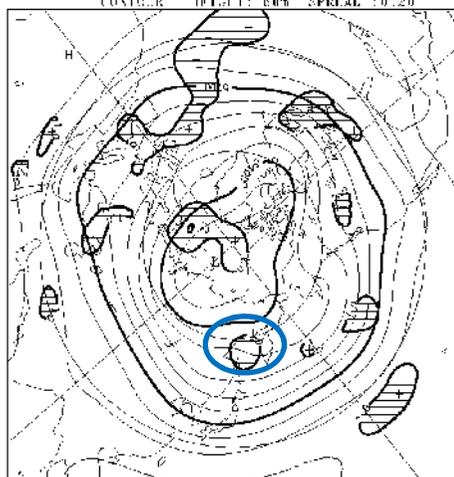


千島近海付近を中心に正偏差だが、日本付近の偏差は小さい。

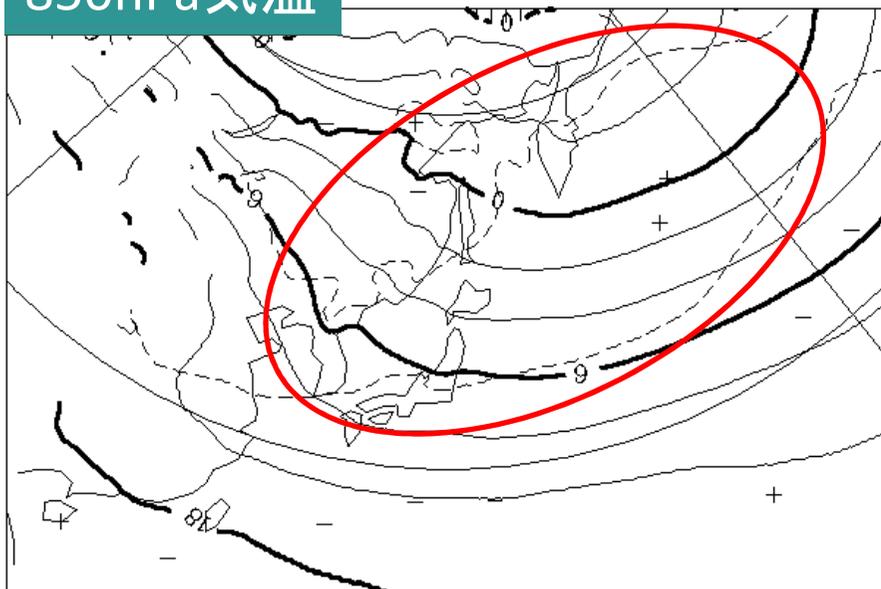
日本の北ではスプレッドが大きく、中緯度帯の流れの予測に不確実性がある。

500hPa SPREAD AND HEIGHT

PROB. OF T. ANOMALY AND S.D.

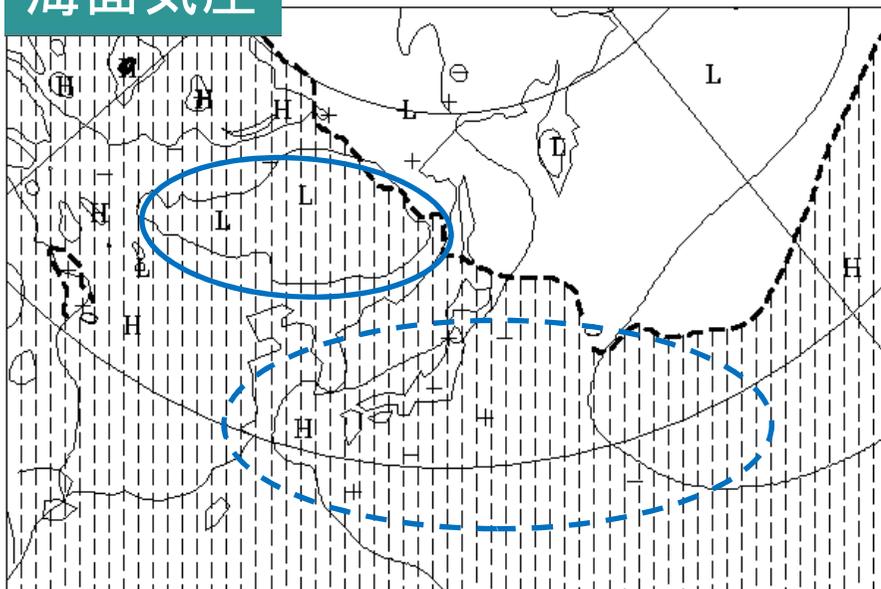


## 850hPa気温



カムチャツカの東を中心に正偏差で、北・東・西日本では暖かい空気に覆われやすい。

## 海面気圧



中国東北区付近では低気圧を予測するが、偏差は1、2週目に比べ弱まる傾向。また、日本付近は弱い負偏差。  
日本の東の高気圧は西への張り出しが弱く、本州付近は湿った空気が流れ込みにくい。  
一方、沖縄・奄美では、日本の東の高気圧の縁に当たり、前線や湿った空気の影響をやや受けやすい。

## 想定される天候

北日本日本海側と沖縄・奄美では、天気は数日の周期で変わるでしょう。  
北日本太平洋側と東・西日本では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

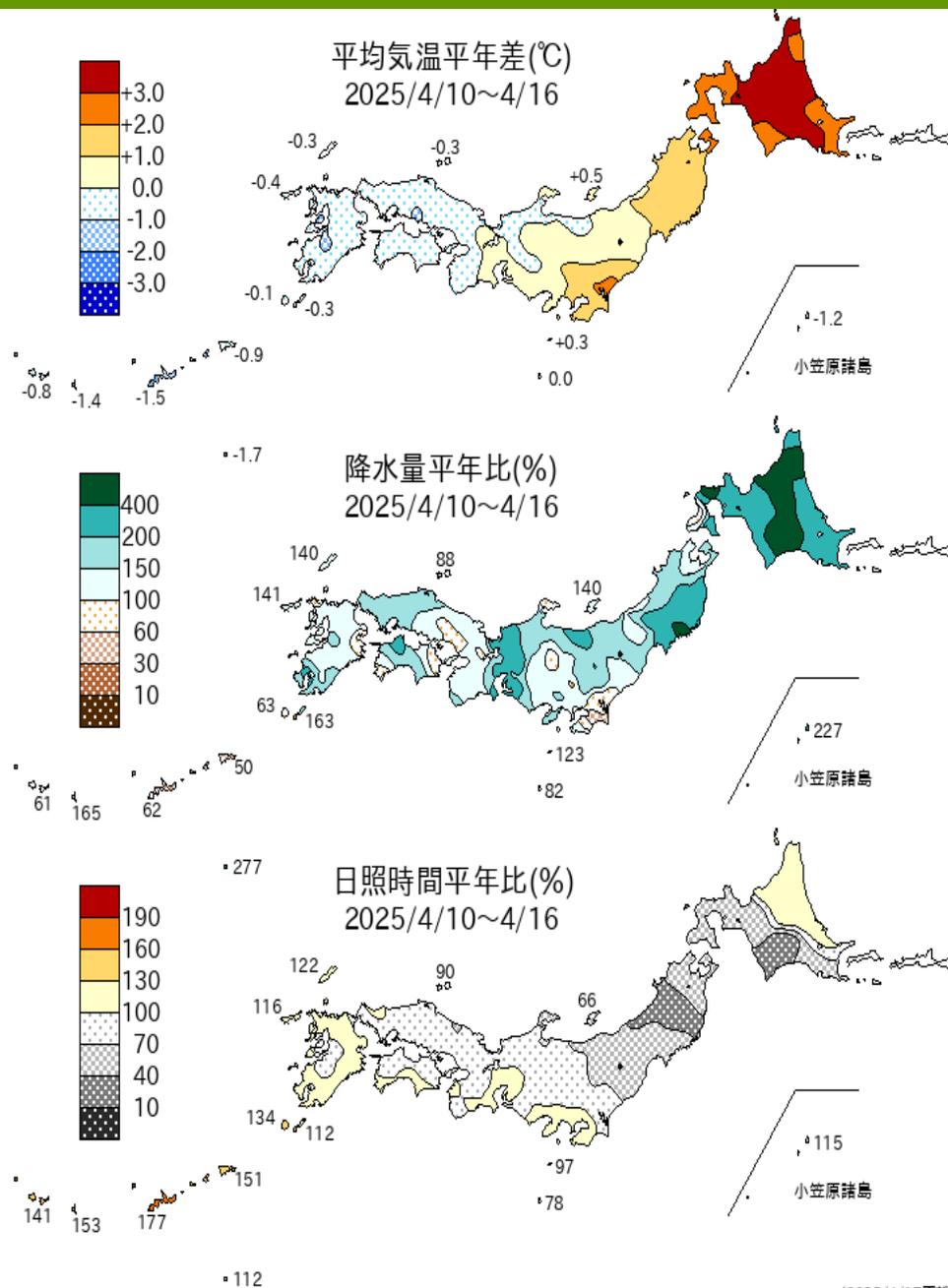
### <気温>

- ・暖かい空気に覆われやすいため、北・東・西日本では高温傾向。
- ・沖縄・奄美では、ほぼ平年並。

### <天候>

- ・沖縄・奄美では、前線や湿った空気の影響をやや受けやすいため、やや寡照。

# 最近1週間の天候経過



最近1週間(4月10日~4月16日)は、日本付近を低気圧と高気圧が交互に通過しました。低気圧や前線の影響や、期間の後半に北日本付近を寒冷渦が通過した影響で、北日本を中心に曇りや雨の日が多く、北・東・西日本ではまとまった雨が降りました。一方、沖縄・奄美では、高気圧に覆われやすかったため、晴れた日が多くなりました。

気温は、低気圧に向かって暖かい空気が流れ込んだため、北・東日本では平年より高くなりましたが、移動性高気圧の冷涼な空気に覆われた沖縄・奄美を中心に平年より低くなりました。

(2025/4/17更新)  
All rights reserved. Copyright(c) Japan Meteorological Agency